

オーストラリアにおける AI の利用について

香川県立高松高等学校
普通科 2 年 森 歩実

オーストラリアは AI において、世界をリードする先進的な取り組みを進めていることから、私は現地での活用の実態を調べたいと考え、高校生オーストラリア・タスマニア派遣事業に応募しました。

まず、オーストラリアにおける AI の制度は近年、急速に進んでいることがわかりました。2023 年 10 月に「学校における生成 AI のフレームワーク」の作成、2025 年 12 月に「National AI Plan 2025」の設置、そして出発直前の今年 7 月 15 日に「Office of AI」新設の発表など、オーストラリアのアルバニー政権は国家が主導となって制度を作成しています。このことについてホストファミリーに質問したところ、AI によって被害を受けた人がいたことから、二度と同じことが起きないようにスピーディに制度が普及していると教えていただきました。また、ホストマザーがホバートカレッジの先生だったことから、タスマニア州教育・児童・青少年局による教職員向けのオンラインによる AI 研修プログラム「AI Aware」があることを教えていただきました。昨年 5 月にタスマニア州が独自に制作したもので、教職員は AI を安全に倫理的に使用方法や質の高いプロンプトの作成方法、AI を活用した授業案の作成や改善などインターネット上で研修を受けることができ、「AI Aware」の修了後にはより実践的な「AI Capable」のプログラムがあるとのことでした。ホストマザーは学校で AI を利用するにあたって、様々なルールがあることや授業の準備などによく AI を利用しているとのことでした。

また、EduChat というオーストラリアのそれぞれの州の教育省が学校向けに開発した安全な生成 AI のチャットボットがあるとのことでした。小学 5 年生から高校 12 年生、日本で言う高校 3 年生までの生徒の年齢に応じた生成 AI のチャットが可能で、生徒からの質問にそのまま答えるのではなく、考えさせながら答えに導く設計をされているそうです。タスマニア州ではまだ、普及していないとのことで、ホバートカレッジの学生の生成 AI の利用も奨励されておらず、生徒の提出物が生成 AI で作成されていないか、チェックできるシステムはタスマニア州でも整備され、教員のホストマザーも利用しているとのことでした。

さらにオーストラリアの大学における AI 活用ですが、タスマニア大学ではホバートカレッジとは異なり、生成 AI を活用したレポートの提出が可能でした。さらに、ただ、生成 AI を活用するのではなく、学生がどのようなプロンプトを生成 AI に指示したのか、指示したプロンプトの結果に対して学生がどのようなクリティカルシンキングをし、修正したのかについて、経過の履歴ログを含めて、レポート提出するとのことでした。さらに生成 AI のハルシネーションや偏見、バイアスなどを見抜いたかを学生の言葉でファクトチェックした内容がレポートで重要視されるとのことでした。補足ですが、タスマニア大学は世界的に

海洋学や南極研究、農業で評判が高く、SDGs の気候変動対策などにおいて世界一の大学だそうです。

ホバートカレッジの生徒はAIをどのように活用しているか、校内で調べたところ、「HoCoの生徒によるAIの活用」のポスターが掲示されていました。HoCoはホバートカレッジのニックネームです。ポスターはカレッジの建物内の多くの所に貼られていました。日本で言う生徒会のような組織が、AIについて学生の意見をまとめていることがわかりました。実際に現地でQRコードをかざしてみましたが、期限切れでサイトに行くことができませんでした。集められた意見は学生リーダー達がまとめて、AFSユース・アセンブリーなどの国際会議に参加し、意見の提言や交流を深めているそうです。

今回、オーストラリアのAIについて、実際、現地へ赴き、ホバートカレッジやホームステイ先で多くの学びや気づきを得られただけでなく、かけがえのない経験をすることができました。一番心に残ったのは、現地の方々の温かさです。ホストファミリー、ホバートカレッジの先生、生徒の皆さん、出会ったすべての方々が優しく、一緒に過ごせて本当に幸せでした。特に、ホバートカレッジの日本語クラスの生徒の皆さんとおしゃべりしながら昼ご飯を食べたことが忘れられません。自分のやりたいことに向かって行動する姿から、多くのことを学びました。また、私たちはホバートタウンホールで合唱を披露しました。1866年、日本では徳川慶喜が15代将軍に就任したころから使われていた歴史あるホールで演奏でき、とても感動的で、貴重な経験となりました。日程の調整をご配慮いただき、このホールでの演奏を実現させてくださり、感謝しております。

このようなすばらしい機会を与えてくださった香川銀行の皆様、支えてくださった皆様、一緒に過ごした団長、副団長、そして団員の仲間に、心から感謝しております。本当にありがとうございました。



8月5日 小学校にて折り紙を紹介